

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 3 月 27 日(2024.3.27)

【公開番号】 特開 2023-99625(P2023-99625A)
【公開日】 令和 5 年 7 月 13 日(2023.7.13)
【年通号数】 公開公報(特許)2023-131
【出願番号】 特願 2023-78757(P2023-78757)
【国際特許分類】

A 6 3 H 11/00(2006.01)

B 2 5 J 13/00(2006.01)

【F I】

A 6 3 H 11/00 Z

B 2 5 J 13/00 Z

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 3 月 18 日(2024.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0005

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明はこのような事情に鑑みてなされたものであって、充電時における機器の動作を適切に制御することができる機器の制御装置、機器の制御方法及びプログラムを提供することを目的とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0006

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0006】

前記目的を達成するため、本発明に係る機器の制御装置の様態は、バッテリーの電圧が動作基準電圧未満であることを検出した際に移行する電源オフの状態であつ充電中であるときに、充電されているバッテリーの電圧が前記動作基準電圧以上になったと判断されると、電源オンの状態に移行するとともに、前記動作基準電圧よりも満充電に対する比率が高い起動基準電圧であるときに機能部が動作する動作範囲よりも動作範囲を制限させて前記機能部に動作を実行させるように制御する、

処理部を備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0007

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、充電中における機器の動作を適切に制御することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

10

20

30

40

50

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バッテリーの電圧が動作基準電圧未満であることを検出した際に移行する電源オフの状態
で且つ充電中であるときに、充電されているバッテリーの電圧が前記動作基準電圧以上にな
ったと判断されると、電源オンの状態に移行するとともに、前記動作基準電圧よりも満
充電に対する比率が高い起動基準電圧であるときに機能部が動作する動作範囲よりも動作
範囲を制限させて前記機能部に動作を実行させるように制御する、
処理部を備える、

機器の制御装置。

10

【請求項 2】

前記機器は電磁誘導方式により前記装置外部のワイヤレス充電装置から電源が給電される
ことにより前記バッテリーを充電し、
前記制限される動作範囲とは、充電中に前記機器が動くことにより前記装置外部のワイヤ
レス充電装置から離れることがない範囲である請求項 1 に記載の機器の制御装置。

【請求項 3】

前記バッテリーの電圧が動作基準電圧未満であることを検出した際に移行する電源オフは
、ユーザによる電源オフ操作検出とは無関係に移行することを特徴とする請求項 1 に記載
の機器の制御装置。

【請求項 4】

20

機器の制御方法であって、

前記機器のバッテリーの電圧が動作基準電圧未満であることを検出した際に移行する電源
オフの状態で且つ充電中であるときに、充電されているバッテリーの電圧が前記動作基準
電圧以上になったと判断されると、電源オンの状態に移行するとともに、前記動作基準電
圧よりも満充電に対する比率が高い起動基準電圧であるときに機能部が動作する動作範囲
よりも動作範囲を制限させて前記機能部に動作を実行させるように制御するステップ、
を含む機器の制御方法。

【請求項 5】

機器が備えるコンピュータを、

前記機器のバッテリーの電圧が動作基準電圧未満であることを検出した際に移行する電源
オフの状態で且つ充電中であるときに、充電されているバッテリーの電圧が前記動作基準
電圧以上になったと判断されると、電源オンの状態に移行するとともに、前記動作基準電
圧よりも満充電に対する比率が高い起動基準電圧であるときに機能部が動作する動作範囲
よりも動作範囲を制限させて前記機能部に動作を実行させるように制御する制御手段、
として機能させるためのプログラム。

30

40

50